

国立感染症研究所ウイルス第一部第二室 主任研究員 募集

【募集部署】	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所ウイルス第一部第二室
【勤務地】	国立健康危機管理研究機構 戸山本部キャンパス(東) 東京都新宿区戸山1-23-1 国立感染症研究所 <変更の範囲>国立健康危機管理研究機構の事業場
【募集職種】	主任研究員(常勤職員)
【採用人数】	1名
【職務内容】	<p>ウイルス第一部は、一種病原体等、出血熱ウイルス、ポックスウイルスその他の高病原性ウイルス、節足動物媒介性ウイルス、新興・再興ウイルス(呼吸器系ウイルスを除く。)及びヒトヘルペスウイルスその他の持続感染性 DNA ウィルスに起因する感染症(ヒト免疫不全ウイルスその他のレトロウイルスに係るものを除く。)に関し、次に掲げる事務をつかさどる。</p> <p>一 病原病因の検索並びに予防及び治療の方法の研究(これらに関するレファレンス業務を含む。)及び講習を行うこと。</p> <p>二 予防、治療及び診断に関する生物学的製剤の生物学的検査及び試験的製造並びにこれらの医薬品の生物学的検査及び検定に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと(他部の所掌に属するものを除く。)。</p> <p>第二室においては、ウイルス第一部の所掌事務のうち、日本脳炎ウイルス、デングウイルスその他の節足動物媒介性ウイルスに起因する感染症に係るものをつかさどる。</p> <p>うち採用予定職では、第二室の所掌業務に主軸を置きつつも、ウイルス第一部における新興ウイルス感染症に係る次の業務を横断的に行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 節足動物(蚊・ダニ)媒介性ウイルス(アルボウイルス)の増殖機構、病原性発現・ウイルス—宿主作用機序、分子疫学及び新規検査系・治療・予防法(抗ウイルス薬、ワクチン等)の開発等に関する研究2. ウィルス第一部第二室が所掌とするワクチンの検定、行政検査、レファレンス業務及び新興アルボウイルス感染症発生時の検査対応に係る業務3. ウィルス第一部内外の室・部・センターと連携をした新興ウイルス感染症に対する基盤・応用研究及び横断的な危機対応4. JIHS 高度封じ込め実験施設(バイオセーフティレベル4/Biosafety level 4: BSL4 施設)を用いた一種病原体の検査対応、患者の命を救うための治療体制の確立に関わる業務及び国内における BSL-4 施設を活用した研究における連携体制構築に係る業務 <p><変更の範囲>国立健康危機管理研究機構における研究等業務</p> <p>【選考基準】</p> <ol style="list-style-type: none">1. ヒト病原性ウイルスの十分な知識と研究実績を有すること。なお、蚊・ダニ媒介性ウイルス

- ス、新興・再興ウイルス等に関する研究実績を有することが望ましい
2. BSL-3 と ABSL-3 を用いた研究実績を有すること
3. 第二室が担当する日本脳炎ワクチン、ダニ脳炎ワクチン等の検定、検査、リファレンス業務に積極的に取り組む意欲があること
4. BSL-4 施設等を活用した感染症危機対応に強い熱意と意欲を有し、BSL-4 における業務に対応できる能力を有すること。なお、BSL-4 での実務経験を有する方は、選考時に優先的に考慮します
5. 部門や室の所掌業務及び人材育成において、リーダーシップを発揮する能力・経験、またはその意欲を有すること
6. 部内の他の研究員及び所内外の共同研究者と連携して業務・研究等を遂行できる協調性とコミュニケーション能力を有すること
7. 新興・再興ウイルス対策に関する国際連携及び共同研究の推進に強い熱意と意欲を有すること。なお、海外での研究経験を有することが望ましい
8. 大学院博士課程修了後概ね4年以上の研究経験を有する学位(博士)取得者

※上記1から6を満たすこと

※なお、次のいずれかに該当する者は、応募できませんのでご了承ください。

- ①拘禁刑(禁錮)以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたは執行を受けることがなくなるまでの者
- ②当機構にて懲戒解雇の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ③日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、またはこれに加入した者

【採用予定日】 令和8年4月1日以降、原則1日付（試用期間：採用日から6ヶ月間）

【給与】 職員給与規程による基本給 ※研究職基本給表 3級相当、経歴により算定
<業績手当>4.65ヶ月分 ※勤務成績等により変動。勤務開始日により除算有。
<他主要手当>地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等
<定期昇給>有り

【勤務形態】 9時00分から17時45分(休憩時間12時～13時)

休日：土日祝、年末年始 12/29～1/3

休暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、特別休暇(忌引等)

※業務の都合により、超過勤務が生じる場合あり

※勤務開始時間の変更・フレックスタイム制の適用は相談可

【その他】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入

※待遇詳細は、「職員就業規則」及び「職員給与規程」による。

【選考方法】 書類選考及び面接

※面接試験にかかる交通費等の支給なし

【応募書類】 ・履歴書(写真添付、様式任意、PC から連絡可能なメールアドレスを記載)

※学歴は高等学校卒業以降から記載

・学位記(写し)または学位を証明するもの

- ・主要研究概要(1,200字以内)
- ・応募職の業務内容に関する抱負(1,000字以内)
- ・業績目録(A4版縦 横書き、別紙参照)
- ・論文別刷(1編以上)
- ・書類送付先またはメールアドレスに 12月22日(月)12時必着で送付してください。
- ・下記募集部署を封書の場合は朱書き、メールの場合は件名にしてください。
『国立感染症研究所ウイルス第一部部第二室 主任研究員 応募』
- ・応募書類は採用審査の用途に限り使用し、返却いたしませんのでご了承ください。
- ・面接はオンラインにて実施することがあります。

【書類送付先】

〒162-8640
東京都新宿区戸山1-23-1
国立健康危機管理研究機構
　　国立感染症研究所総務部人事課 担当:宇田川
　　メール:koubo-niid@nih.go.jp
TEL:03-5285-1111 (内線)2025

(別紙)

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文（学会誌発表等）

（1）欧文

（2）邦文

3. 学会発表（講演・発表等）

4. 外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近5年）

（記入上の注意事項（共通））

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。

2. 年代の新しいものから順に記載すること。

3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。

（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）

4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（）書で和訳を記載すること。

5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））

6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。

7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

8. 査読有りの論文については最低限、記載すること。

(参考例)

1. 著書

①機構太郎、感染太郎

(他炎症の組織病態

○○社, PP. 67-87, 1989)

2. 学術論文

(1) 欧文

①Taro Kansen、Jiro Kansen、Saburou Kansen、Tarou Kikou、Jiro Kikou、Saburou Kikou

(筆) An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in USA , 2002

(○○○○○○○感染症のアウトブレイク－2002年アメリカ)

Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

①感染太郎、感染二郎、感染三郎、機構太郎、機構二郎、機構三郎

(筆) An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in Oosaka, JAPAN, 2004

(○○○○○○○感染症のアウトブレイク－2004大阪)

Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

①感染太郎

(単) ラット皮下腫瘍の消長と○○○の相互関係について

第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近5年）

①厚生労働省、○○（課題名）

期間：令和○○年～令和△△年、金額○○○円／年

②科学研究費補助金、（課題名）□□□□□

期間：令和○○年～令和△△年、金額○○○円／年